

海上公園の防災機能の強化について

臨海部に位置する海上公園では、東京都の地域防災計画等により、災害時の救援活動に必要な「大規模救出救助活動拠点」や「災害時臨時離着陸場候補地」などの位置づけがされています。このような位置づけに基づき、海上公園の役割を整理し、計画的に防災機能の整備・改修をしていくため、「海上公園防災整備計画」を策定しました（平成 26 年 3 月）。

また、来園者が災害時に安全に避難するために必要な整備・改修として、主要園路・出入口の非常用照明や、防災トイレ、海拔表示板の設置などについてもこの計画で定め、順次整備を進めていく予定です。

今後は、この計画に基づいて、おおむね 10 年以内に整備を完了させる予定で、そのうち主要公園については、優先して 5 年以内の完了を目指しています。

【想定される主な防災機能】

- ・ 来園者等の安全確保
- ・ 救援活動の拠点
(大規模救出救助活動拠点、災害時臨時離着陸場、海上輸送基地・水上輸送基地など)
- ・ 延焼防止機能

【整備対象公園】

- ・ 地域防災計画に位置付けのある公園
- ・ 津波避難誘導の必要のある公園
- ・ 耐震強化岸壁背後のオープンスペースとして設定する公園

【主な位置づけと整備内容】

● 来園者等の安全確保

① 避難場所、避難路の整備

避難者や来園者が円滑に避難できるよう、出入口・園路の拡幅や防災トイレ（主に既存トイレの耐震化）、案内表示の整備、非常用照明の設置などを行っていきます。

② 海拔表示板

海拔^{*1}表示板の設置により、平常時から、地震の際には津波の危険があることをお知らせするほか、いざという時の出口案内表示などを行います。全ての海上公園を設置対象に、海沿いの転落防止柵、案内板、管理所やトイレ等の建物外壁など、人目につきやすい場所に表示板を設置します。

* 1 ここで言う「海拔」とは、東京湾の平均海面を 0 m とした陸地の標高(海拔高度)を指します。

* 2 東京湾で想定される最大津波高は東京湾の平均海面+1.92m～+2.61m 程度であることを踏まえて、海拔表示の内容を変えています。

[参考：首都直下地震等による東京の被害想定（平成 24 年 4 月 東京都防災会議）]

《海拔表示板 イメージ》



(海拔が 2.61m^{*2}を超える場合)



(海拔が 2.61m 以下の場合)

●大規模救出・救助活動拠点

主に、災害時における自衛隊、消防、警察等のベースキャンプ地などに活用されます。

海上公園では、以下の2つの公園に位置づけがあり、大型車両出入り口の確保、園路の改修、非常用照明の設置等を進めていきます。

- ・若洲海浜公園（ゴルフ場）
- ・大井ふ頭中央海浜公園（スポーツの森）

《若洲海浜公園 ゴルフ場》



●災害時臨時離着陸場

震災時に交通路が回復までの緊急輸送用ヘリコプターの離着陸場所として、公園の駐車場や広場などが候補施設となっています。

海上公園では以下の4つの公園に位置づけがあり、舗装の強化や、出入口の整備、園路の拡幅などを進めていきます。

- ・若洲海浜公園
- ・大井ふ頭中央海浜公園
- ・辰巳の森海浜公園
- ・シンボルプロムナード公園

●海上輸送基地（耐震強化岸壁の背後のオープンスペース）

港湾局では、首都直下地震等の大規模地震発生時に、救援緊急物資等の海上輸送のため、耐震強化岸壁の整備を進めています。

そのうち、海上公園においては、各耐震強化岸壁に対応した、救援緊急支援物資や応急復旧資機材等の仕分け・一時保管場所や、トラック等の駐車スペース確保、園路整備などを進めていきます。

- ・辰巳の森緑道公園（西側）
- ・シンボルプロムナード公園
- ・フェリーふ頭公園 など

●水上輸送基地

災害時に、帰宅困難者や緊急物資の輸送拠点として利用される船着場です。

海上バス発着など通常利用のほか、災害時にも備え、老朽化した施設の改修及び維持管理を行っていきます。

- ・お台場海浜公園
- ・大井ふ頭中央海浜公園

《お台場海浜公園 船着場》



【本計画に関するお問い合わせ先】

海上公園課 整備計画係

電話 03 (5320) 5578 都庁内線 43-382